

令和4年度 稲沢市環境審議会（第2回） 会議録

- 【日時】 令和5年2月27日（月） 午後1時25分～2時38分
- 【場所】 稲沢市環境センター 事務棟2階 大会議室
- 【出席者】 稲沢市環境審議会委員（敬称略）
- | | | |
|-----|--------|-------------------|
| 会長 | 成田 裕一 | 名古屋文理大学 |
| 副会長 | 澄川 隆昭 | 祖父江町商工会 |
| 委員 | 栗木 雅洋 | 清須保健所 |
| 委員 | 森 和広 | 稲沢市小中学校校長会 |
| 委員 | 石川 愛 | 稲沢青年会議所 |
| 委員 | 松原 良雄 | 稲沢ライオンズクラブ |
| 委員 | 源治 保秀 | 豊田合成労働組合 |
| 委員 | 牛嶋 みゆき | 稲沢市連合婦人会 |
| 委員 | 野田 珠生 | NPO法人 祖父江のホテルを守る会 |
| 委員 | 鈴木 裕 | さわやか隊 |
| 委員 | 村瀬 政彦 | 市民公募 |
| 委員 | 荻山 はるみ | 市民公募 |
- 【欠席者】
- | | | |
|----|-------|------------------|
| 委員 | 山本 丈晴 | 愛知県尾張県民事務所 環境保全課 |
| 委員 | 上田 能徳 | 稲沢商工会議所 |
| 委員 | 角田 肇康 | 平和町商工会 |
- 【事務局】
- | | |
|-------|----------------|
| 足立 和繁 | 経済環境部長 |
| 森田 徹 | 経済環境部次長兼環境保全課長 |
| 別府 正弘 | 経済環境部 資源対策課長 |
| 吉川 康彦 | 経済環境部 環境施設課長 |
| 木全 泰司 | 経済環境部 環境保全課 主幹 |
| 樋田 祐二 | 経済環境部 環境保全課 主幹 |
| 土屋 昭 | 経済環境部 環境保全課 主査 |
| 成迫 太一 | 経済環境部 環境保全課 主事 |

【議事次第】

- 1 あいさつ
- 2 議題
 - (1) 公共施設LED導入の進捗状況について
 - (2) 稲沢市地域再エネ導入戦略策定事業の進捗状況について

【会議の概要】

・経済環境部長あいさつ

日頃は、本市環境行政に格別の御理解・御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。この場をお借りし、あらためて感謝申し上げます。

さて、第1回のこの会議でも申し上げましたが、稲沢市では世界的な大問題である地球温暖化に対応するため、令和3年9月に「ゼロカーボンシティ」を宣言いたしました。これは2030年度に二酸化炭素などの温室効果ガス排出量を2013年度比46%削減、2050年

までに実質ゼロにすることを旨とするというハードルの高いものです。

本日はこれを受けて、現在本市で取り組んでいます様々な施策の進捗状況につきまして御説明をさせていただきます。

この審議会を通じ、委員の皆様方からも御意見等をいただきながら、目標の達成に向けて、より良い施策として参りたいと考えておりますので、何卒、御理解、御協力の程、よろしくお願いいたします。

・事務局 自己紹介

・成田会長あいさつ

市内の環境は、この稲沢市に住む私達市民一人ひとりが環境保全に配慮していくことが大切であり、環境基本計画にあるように、市民・事業者・市の三者が、協働していく必要があります。

本日は、世界的に大きな問題となっている地球温暖化問題に対する、ゼロカーボンシティとしての稲沢市の取組の、第1回の会議以降の進捗状況について、事務局より報告があると聞いています。

ゼロカーボンは大変高いハードルであると思います。この審議会におきましても、委員の皆様と共に、目標の達成に向けてできることを考えていきたいと思っておりますので、よろしく御協力をお願いいたします。

1 議事

[会 長]

ただ今より、議事を進めます。皆様のご協力をお願いします。

議題（1）公共施設LED導入の進捗状況について、事務局から説明をお願いします。

[事務局]

資料に基づき、説明。

○質疑応答

[委 員] Q

公共施設のLED化は令和4年度から7年度までで全て完了するということか。

[事務局] A

既に導入済と使用頻度が低く効果が少ないものを除き、全ての公共施設について4年間で完了する予定をしています。

[委 員] Q

10年間のリース期間が終わった後は、照明器具はどうなるのか。

[事務局] A

リース料完済後に、業者より市に無償提供されます。

[会 長]

ほかに何かございますか。無いようですので、次に移ります。

議題（２）稲沢市地域再エネ導入戦略策定事業の進捗状況について、事務局から説明をお願いします。

[事務局]

資料に基づき、説明。

○質疑応答

[委 員] Q

P 6 コラム中の中部電力のグラフはホームページで更新されていますので、差替えをお願いします。

[事務局] A

御指摘ありがとうございます。差替えるようにいたします。

[委 員] Q

P 8 に Z E H や Z E B の記載がありますが、市としてもっと P R した方が良いと思います。

[事務局] A

そのように努めてまいります。

[委 員] Q

環境センターから排出される温室効果ガスは、どの部門に入るのでしょうか。

[事務局] A

業務その他部門に含まれます。

[委 員] Q

P 1 4 の将来排出量の推計に、部門別の内訳があると良いと思います。

[事務局] A

資料編の P 1 9 に載せています。

[委 員] Q

P 2 2 の表にある高位シナリオを目指した取組は結構大変だと思いますが、あくまで高位を目指すのでしょうか。

[事務局] A

再エネ導入ポテンシャルを全て使えるとは限りませんし、また熱量については高位シナリオでないと達成できない見込みとなっていますので、高位シナリオを目指して取り組んでいきます。

[委員] Q

P 2 2 の表ですが、グラフで示していただけると判り易いと思います。

[事務局] A

検討します。

[委員] Q

P 2 2 の表の再エネ導入ポテンシャルの内、ソーラーパネルがどれだけというような内訳が示されると良いと思います。

[事務局] A

本戦略の取組は目標を示すものであり、何をどれだけというような具体的な取組は、来年度策定します地球温暖化対策実行計画<区域施策編>でお示しします。

[委員] Q

P 1 2 の省エネ施策に廃プラスチックのリサイクル推進が挙げられているが、その中にペットボトルは含まれるのか。現在ペットボトルは奨励金の対象となっていないが、推進ということであれば対象とすべきではないか。

[事務局] A

ペットボトルについても回収し、リサイクルをしております。今後、奨励金がお支払いできるように検討してまいります。

[委員] Q

産業部門からの温室効果ガスの排出量が多いということですが、中小企業は今どこも大変な状況にあり、その中で削減に取り組んでいくことは難しいと思います。市で補助金を設けるなど、支援を考えていただきたいと思います。

[事務局] A

検討してまいります。

[委員] Q

P 1 1 の施策の中で、建築物の省エネ化について新築が重点となっていますが、数としては既存建築物が多いと思います。既存建築物の省エネ化に力を入れた方が良いのではと思います。

[事務局] A

既存建築物の省エネ化については、改修が可能かどうか、個々に検討が必要ですが、できるものについては進めてまいります。

[会長]

その他、特に御質問、御意見はございませんか。無いようですので、これで、本日の議題は

全て終了いたしました。委員の皆様、大変御協力ありがとうございました。以上で進行を事務局にお返ししますので、よろしくお願ひします。

[事務局]

成田会長、どうもありがとうございました。

それでは本日は、長時間にわたり慎重審議を賜り、誠にありがとうございました。以上をもちまして会議を閉じさせていただきます。お帰りの際には交通事故の無いよう気を付けてお帰りにください。